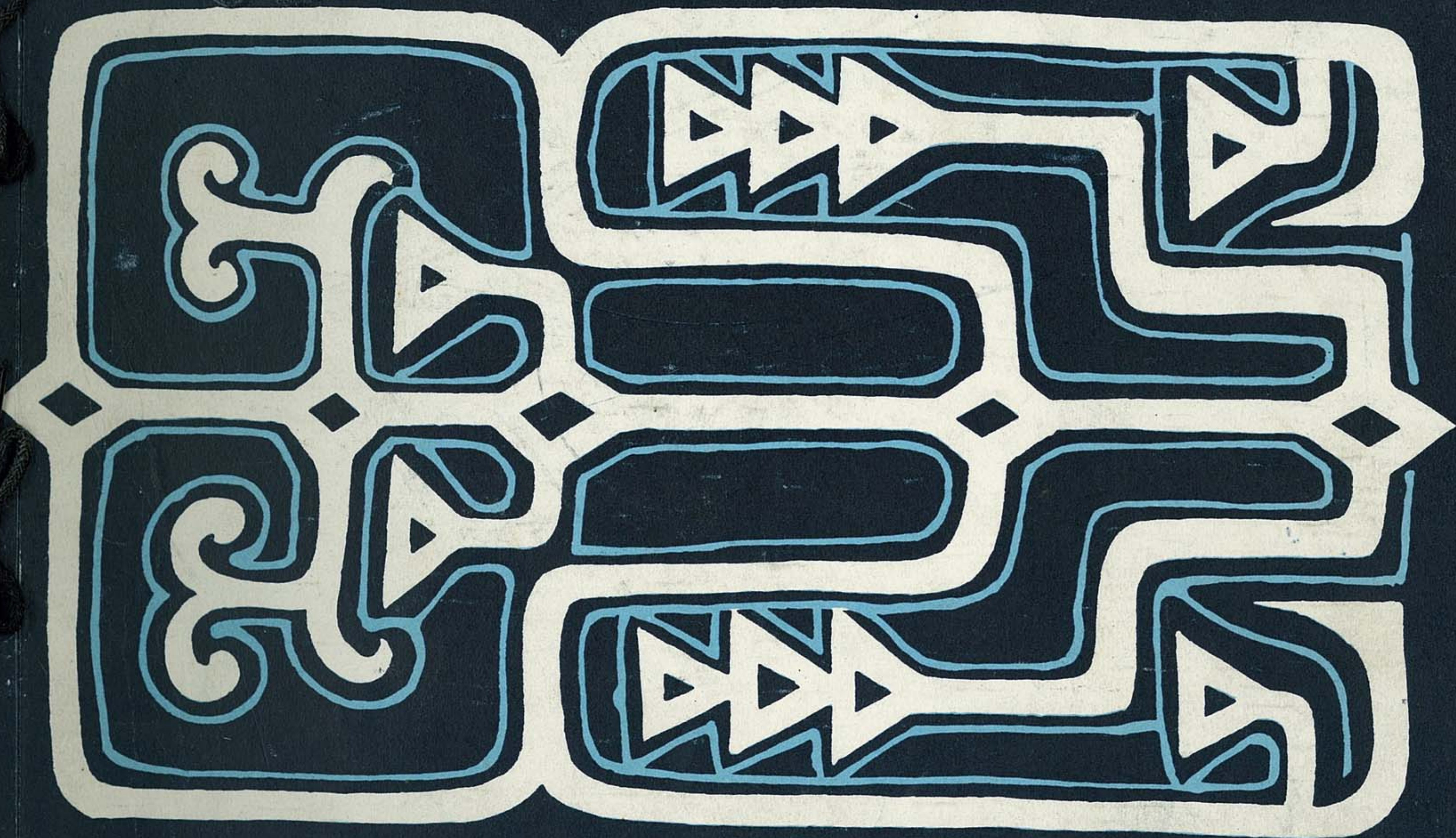


0/4
25
243

資料
沿革

高商第34回卒業記念アルバム

(昭和22年)







浜林生之助先生



小林象三先生



木曾榮作先生



南亮三郎先生



石河英夫先生



原憲一先生





室谷賢治郎先生



長尾義三先生





松尾正路先生



C. N. スミルニツキ-先生



内閣印刷局發行
官廳編纂圖書取次店

小島大蔵五郎先生



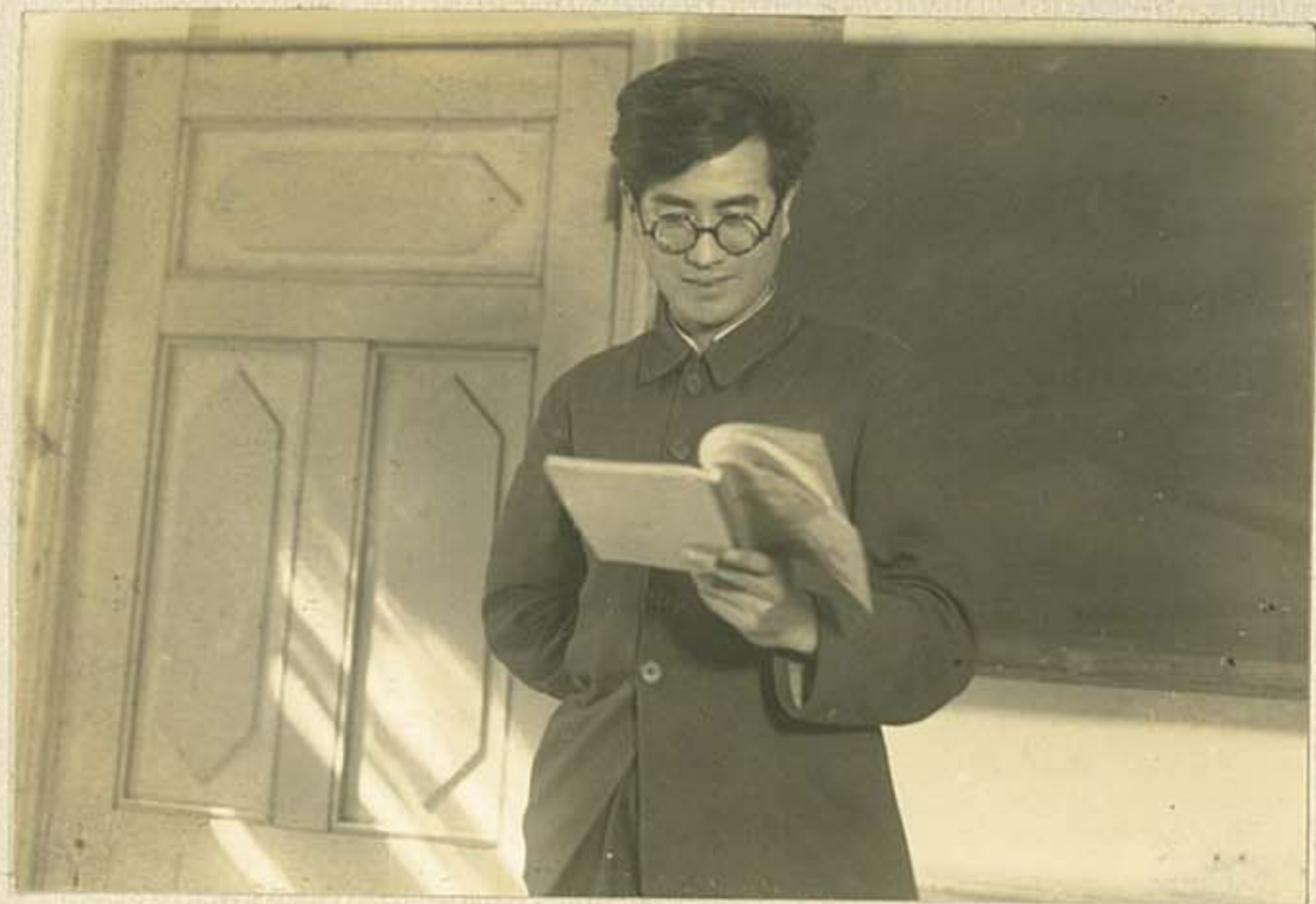


速川浩先生



玉井武先生





川村三平先生



武隈良一先生



峯村文人先生



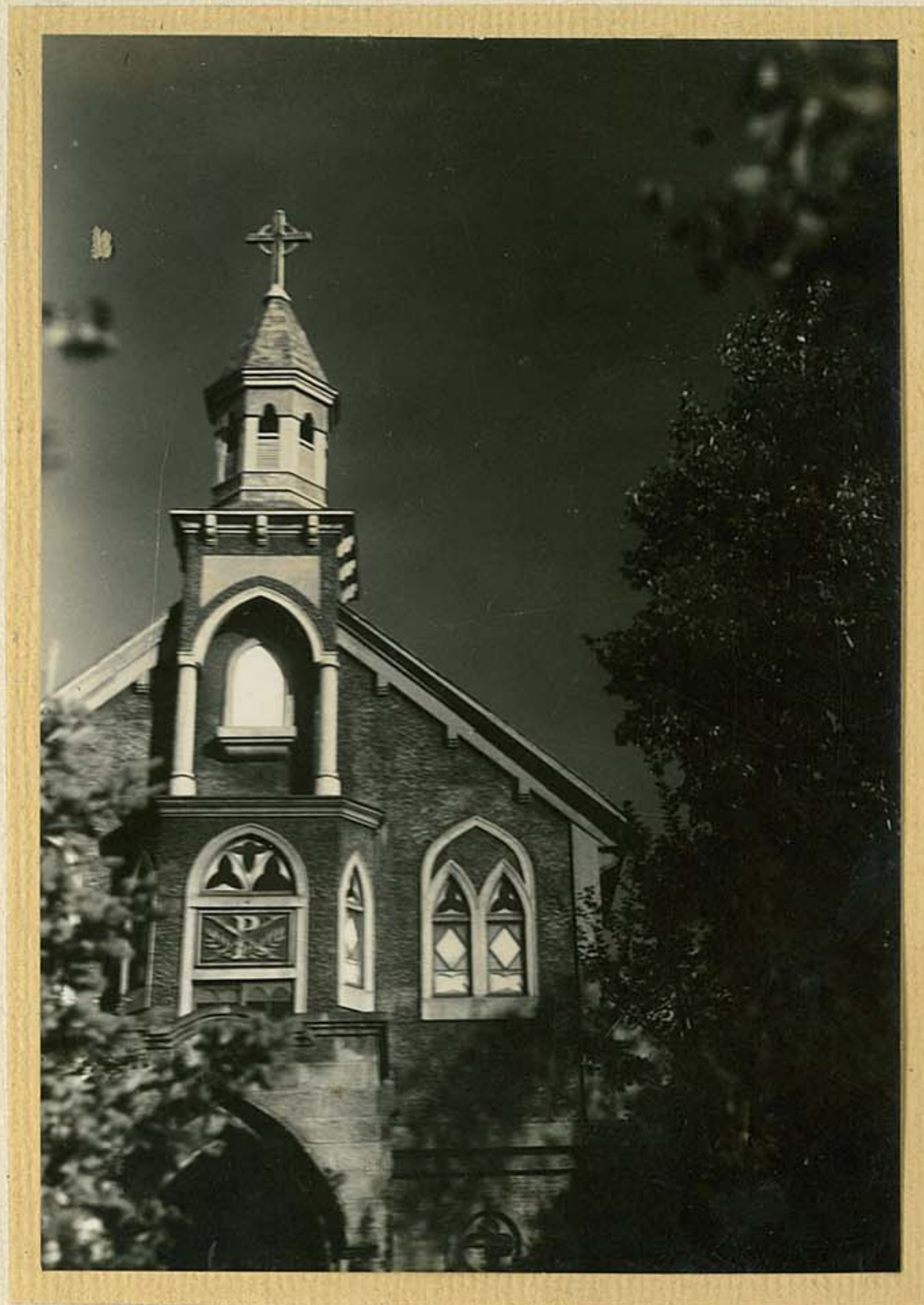
本部 林二先生



岡本理一先生



木村重義先生



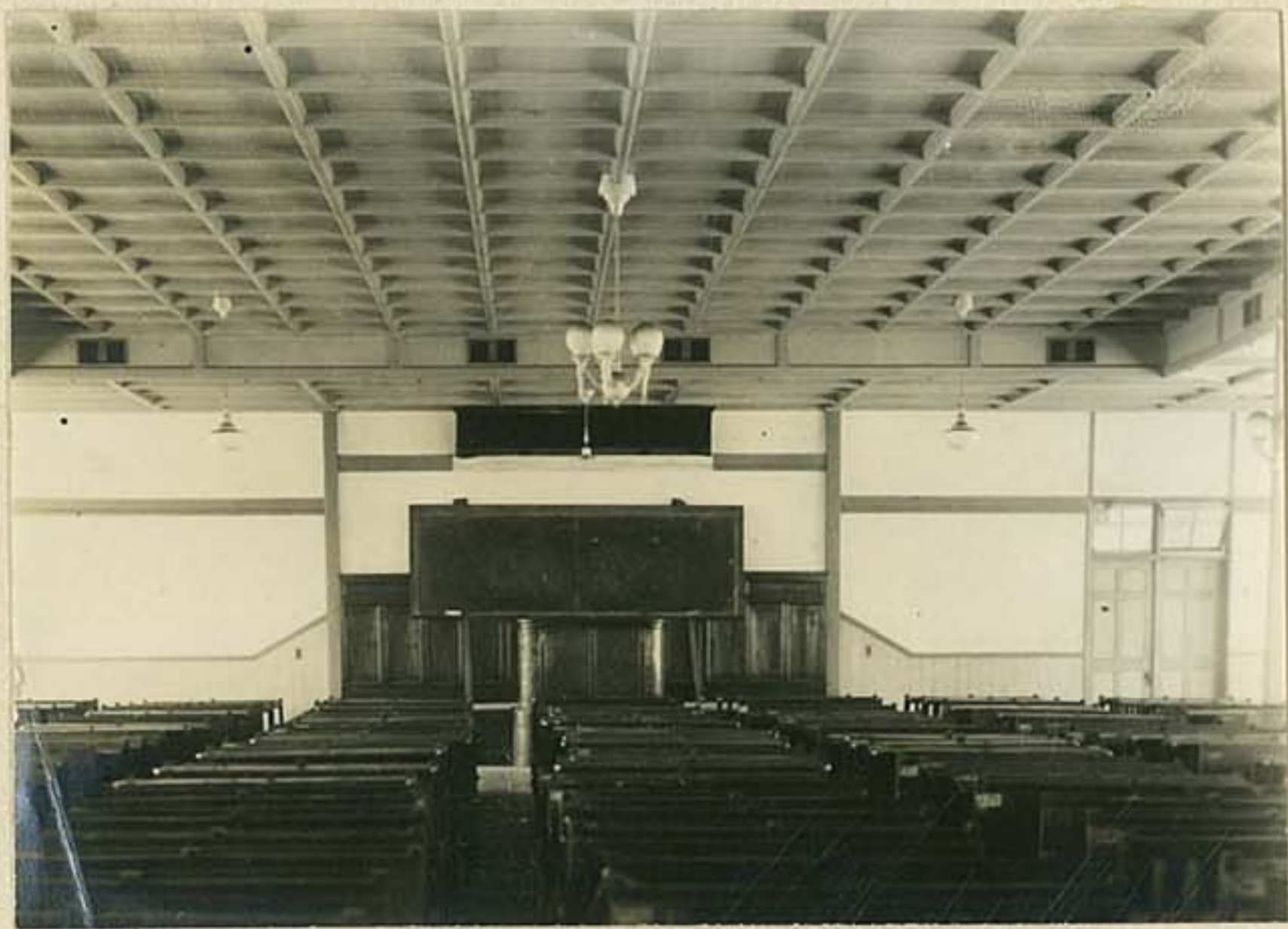














































編輯後記

學理の探究にはやる心もて緑丘の門を敲いてより早や三年今は言ひ知れぬ憂愁と寂漠の卒業生として去り難き學園を後に丘を下る身となつた。

此の三年——それは將に主体的にも客体的にも變轉そのものだった、その中にあり我々は勤勞奉仕に或は學徒出陣にそして事態は再び急轉直下し懐しき學園に復歸するを得た。

それは將に驕れる全体主義より興へられたるものであるが民主主義への轉移と云へやう。だが其處には余りにも大きな懸隔と斷層とがあつた。そのためこそ絶望と懷疑と苦惱の深淵が横臥つて居るのだ………何時の日にか此のさゝやかな寫眞を眺める時懐かしき學園の人々の愛と當時への回想を手繰る糸となり、更に未來に生きる新しき力の糧ともなれば幸甚である。

猶企劃通りのアルバムとして諸君に御渡しする事ができず且編輯の粗雑になりし点は關係者一同慚愧に堪えず、諸事情御賢察の上御諒恕願ひ度い。

末筆乍ら制作に當り寧日御協力下された井岸寫眞館内諸氏に深謝し、後記とす。祈御健斗 (辻澤記)

寫眞編輯委員

A組

五 島 勇 治
楠 喜 文
齋 藤 三 雄
眞 田 洋
笹 浪 樹 三

B組

石 黒 茂 男
佐 野 義 彦
齋 藤 一 久
山 田 賢 治

F組

波 多 野 精 一
々々 木 和 雄
澤 佐 哲 郎
是 辻 震 一
唯 是 震 一

(ABC順)

應 援

佐 藤 一 郎